

滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和8年度 滋賀県がん診療連携協議会 がん登録推進部会		
開 催 日 時	令和8年7月24日（金） 15時00分～16時00分		
開 催 方 法	Zoom会議		
委 員	【出席】		
	滋賀県立総合病院	北条 雅人	（部会長）
	滋賀医科大学医学部附属病院	寺本 晃治	
	大津赤十字病院	廣瀬 哲朗	
	公立甲賀病院	阪上 琴美	
	彦根市立病院	志井 千明	
	市立長浜病院	大橋 依子	
	高島市民病院	大橋 信也	
	市立大津市民病院	平田 真理	
	淡海医療センター	伊藤 良治、福山 歩美	
	済生会滋賀県病院	片山 政伸、土屋 明子	
	近江八幡市立総合医療センター	大西 真	
	長浜赤十字病院	谷口 正展、廣部 有香	
	東近江総合医療センター	山口 剛、藤沢 友子	
	滋賀県がん患者団体連絡協議会	柳田 英代	
	滋賀県健康医療福祉部	北浦 愛佳	
	滋賀県立総合病院	岩田 里織	
	【事務局】		
	滋賀県立総合病院	柳 香里、米澤 寿裕	
	【欠席】		
	滋賀医科大学医学部附属病院	入山 侑香	
	大津赤十字病院	森 明子	
	公立甲賀病院	太田 裕之	
	彦根市立病院	龍見 謙太郎	
	市立長浜病院	上田 修吾	
	高島市民病院	武田 佳久	
	市立大津市民病院	益澤 明	
	近江八幡市立総合医療センター	門谷 弥生	
	長浜赤十字病院	丹後 泰久	（敬称略）
議 事 概 要	1. 委員紹介		
	2. 令和8年度事業計画（アクションプラン）について アクションプランの目標は「がん登録実務のスキルアップおよびがん登録の標準化と精度向上の推進」。年間スケジュールは部会、研修会とも2回計画している。研修会の内容については変更になる可能性もある。 相互チェック結果のまとめは9月18日（金）開催予定の研修会で報告予定。		
	3. 今年度のPDCAについて 今年度のテーマは引き続き「がん登録情報の利活用」とする。プランは「がん登録情報の活用事例数」とし、また各施設の統計については、アンケートを行い次回部会での報告予定としている。		
	4. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会報告 2027年診断症例から「被保険者番号等」が収集項目に追加される。システム更新につい		

	て厚生労働省から各ベンダーに周知されているが、各施設でもベンダーに確認していただくようお願いする。 全国集計の提出期間（拠点）7月6日～8月7日、（支援）8月18日～9月18日。 2027年診断症例は、多重がんルールやUICC8版から9版へと変更が多い。国立がん研究センター主催の「がん登録病院等実務者研修」を受講していただきたい。 5. その他【（令和7年度2回目の資料）2024部位別集計】 2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化、集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方について、厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課長より通知あり。 「医療機関ごとの診療実績を医療機関の同意のもと、一元的に発信し、住民に提供する」ことに関して、治療実績ということでがん登録推進部会が担当することになった。 第2回目の部会で使用している統計を利用したいと考えている。この部会で公表する部位、項目を決めていただきたい。決めていただいた内容は提案として、企画運営委員会、がん診療連携協議会に提出し、医療機関の同意はがん診療連携協議会で決定される予定。掲載場所は「がん情報しが」である。 →項目は1から3で良いかと思う。4初回治療の項目で部位によっては手術件数の差が大きい。数字だけで見ると医師が常勤・非常勤でいるいないなどの背景がわからず、手術なしで治せるなどと誤認される可能性がある。具体的に公表するのは全ての病院ではなく症例数が多い3病院ぐらいに限定してはどうか（大津赤十字病院） →検討し、公表がどのようになるか待ちたい（滋賀県がん患者団体連絡協議会） →公表の目的について厚生労働省の通知をどのように解釈しているか。また、「がん患者が安全で質の高い患者本位の医療を適切な時期に受療できるよう」にするために統計を公表するという解釈でよいのか（滋賀医科大学医学部附属病院） 通知は提示した1枚の資料のみであり事務局としても解釈に迷っている（事務局） →資料にある統計項目について、基準となるものはあるのか（淡海医療センター） 国立がん研究センター院内がん登録症例集計を準じているが、初回治療の項目は部位によっては若干変更している（事務局） →10部位は滋賀県全体で決めるのか、各病院で部位を決めてよいのか（済生会滋賀県病院） 公表する部位、項目は滋賀県として決める（事務局） →均てん化・集約化に関して医療機関ごとの診療実績を公表する意味があるのか（長浜赤十字病院） 厚生労働省からの通知には、均てん化・集約化と実績公表の具体的な関係性については記載されていない。何らかの情報が伝わってきたら、皆さんにも報告する（部会長） →部位は提示された以外の部位、またそれら部位を公表する可能性はあるか（滋賀医科大学医学部附属病院） 現在公表可能と考えられるのは提示した部位である（事務局） →事務局より後日、意見確認のメールをさせていただく。取りまとめた結果を第2回メール意見交換にて報告予定。（部会長）
--	---

以上のとおり報告します。

令和8年8月6日

滋賀県がん診療連携協議会 会長 様

がん登録推進部会 部会長 北条 雅人